

◎ 千九百六十六年の滿載喫水線に関する国際条約

(略称) 一九六六年の滿載喫水線条約

昭和四十一年四月五日
昭和四十三年七月二十一日
ロンドンで作成
効力発生

昭和四十一年四月五日
署名

昭和四十三年四月二十六日
国会承認

昭和四十三年五月七日
受諾の閣議決定

昭和四十三年五月十五日
受諾書の寄託
公布及び告示

昭和四十三年五月二十五日
(条約第六号)
効力発生

目次

前文	ページ
第一条 条約の一般的義務	五四七
第二条 定義	五四七
第三条 一般規定	五四七
第四条 適用	五四八
第五条 適用除外	五四九

第六条	免除	五五〇
第七条	不可効力	五五一
第八条	同等物	五五二
第九条	実験の目的のための承認	五五二
第十条	修繕、変更及び改造	五五二
第十一条	帯域及び区域	五五三
第十二条	水没	五五三
第十三条	検査及び標示	五五四
第十四条	最初の検査及び定期的検査	五五四
第十五条	検査後における状態の維持	五五五
第十六条	証書の発行	五五五
第十七条	他の政府による証書の発行	五五六
第十八条	証書の様式	五五七
第十九条	証書の有効期間	五五七
第二十条	証書の容認	五五八
第二十一条	監督	五五九
第二十二条	特権	五六〇
第二十三条	海難	五六〇

第二十四条	従前の条約	五六〇
第二十五条	合意によつて作成された特別規則	五六一
第二十六条	情報の送付	五六一
第二十七条	署名、受諾及び加入	五六二
第二十八条	効力発生	五六二
第二十九条	改正	五六三
第三十条	廃棄	五六六
第三十一条	停止	五六六
第三十二条	地域	五六七
第三十三条	登録	五六八
第三十四条	用語	五六八
末文		五六八
附属書1		五八二
満載喫水線を決定するための規則		五八二
第一章 規則		
第一 規則	船体の強さ	五八二
第二 規則	適用	五八二
第三 規則	この附属書で使用する用語の定義	五八三

第四規則 甲板線 五八七

第五規則 満載喫水線標識 五八八

第六規則 満載喫水線標識とともに使用する線 五八八

第七規則 指定機関の標識 五九二

第八規則 標示の細目 五九二

第九規則 標識の検証 五九三

第二章 フリーボードの指定の条件

第十規則 船長に提供される資料 五九三

第十一規則 船楼端隔壁 五九四

第十二規則 戸 五九四

第十三規則 ハッチ、戸口及び通風筒の位置 五九四

第十四規則 貨物ハッチその他のハッチ 五九五

第十五規則 可搬式ハッチ・カバーによつて閉鎖され、かつ、ターボ
リンとバツテンによつて風雨密を保持するハッチ 五九五

第十六規則 鋼その他これと同等の材料の風雨密のハッチ・カバーで
ガスケットと併用する締付け装置付きのものによつて閉
鎖されるハッチ 五九九

第十七規則 機関区域の開口 六〇一

第十八規則	フリーボード甲板及び船楼甲板のその他の開口	六〇一
第十九規則	通風筒	六〇二
第二十規則	空気管	六〇三
第二十一規則	載貨門その他類似の開口	六〇四
第二十二規則	排水管、吸入管及び排出管	六〇四
第二十三規則	舷窓	六〇六
第二十四規則	放水口	六〇七
第二十五規則	船員の保護	六〇九
第二十六規則	A型船舶に関する指定の特別条件	六一〇

第三章 フリーボード

第二十七規則	船舶の型式	六一二
第二十八規則	フリーボード表	六一八
第二十九規則	長さ百メートル（三百二十八フィート）未満の船舶に関するフリーボードの修正	六三二
第三十規則	方形係数による修正	六三三
第三十一規則	深さによる修正	六三三
第三十二規則	甲板線の位置による修正	六三四
第三十三規則	船楼の標準の高さ	六三四

第三十四規則	船樓の長さ	六三五
第三十五規則	船樓の有効長さ	六三六
第三十六規則	トランク	六三六
第三十七規則	船樓及びトランクに関する控除	六三八
第三十八規則	舷弧高	六四〇
第三十九規則	最小の船首高さ	六四四
第四十規則	最小フリーボード	六四六
第四章	木材フリーボードを指定される船舶に対する特別の要件	
第四十一規則	この章の適用	六四八
第四十二規則	定義	六四八
第四十三規則	船舶の構造	六四八
第四十四規則	積付け	六四九
第四十五規則	フリーボードの計算	六五二
附屬書Ⅱ		六五四
帯域、区域及び季節期間		六五四
第四十六規則	北部季節冬期帯域及び区域	六五四
第四十七規則	南部季節冬期帯域	六五六
第四十八規則	熱帯域	六五七

第四十九規則	季節熱帯区域	六五九
第五十規則	夏季帯域	六六三
第五十一規則	閉囲された海域	六六三
第五十二規則	冬期北大西洋満載喫水線	六六五
附屬書Ⅲ		六六七
証書		六六七

千九百六十六年の満載喫水線に関する国際条約

締約政府は、

国際航海に従事する船舶の積載の限度に関し、海上における人命及び財産の保護の必要性に照らして画一的な原則及び規則を設定することを希望し、

この目的が条約の締結により最もよく達成することができることを考慮して、
次のとおり協定した。

第一条 条約の一般的義務

- (1) 締約政府は、この条約及びその不可分の一部をなす附属書の規定を実施することを約束する。この条約に言及しているときは、同時に附属書にも言及しているものとする。
- (2) 締約政府は、この条約を実施するために必要なすべての措置を執るものとする。

第二条 定義

- (1) 別段の明文の規定がない限り、この条約の適用上、
「規則」とは、この条約に附属する規則をいう。
「主管庁」とは、船舶の旗国の政府をいう。
「承認」とは、主管庁の承認をいう。
- (2) 「国際航海」とは、この条約が適用される一国から国外の港に至る航海又はその逆の航海をいう。この場合において、

INTERNATIONAL CONVENTION ON LOAD LINES, 1966

The Contracting Governments,

desirous to establish uniform principles and rules with respect to the limits to which ships on international voyages may be loaded having regard to the need for safeguarding life and property at sea;
convinced that this end may best be achieved by conclusion of a Convention;

HAVE AGREED as follows:

Article 1
General Obligation under the Convention

- (1) The Contracting Governments undertake to give effect to the provisions of the present Convention and the Annexes hereto, which shall constitute an integral part of the present Convention. Every reference to the present Convention constitutes at the same time a reference to the Annexes.
- (2) The Contracting Governments shall undertake all measures which may be necessary to give effect to the present Convention.

Article 2
Definitions

For the purpose of the present Convention, unless expressly provided otherwise:

- (1) "Regulations" means the Regulations annexed to the present Convention.
- (2) "Administration" means the Government of the State whose flag the ship is flying.
- (3) "Approved" means approved by the Administration.
- (4) "International voyage" means a sea voyage from a country to which the present Convention applies to a port outside such country, or conversely. For this purpose, every territory for the international relations of which

締約政府が国際関係について責任を有する地域又は国際連合が施政権者である地域は、別個の国とみなす。

(5) 「漁船」とは、魚類、鯨類、あざらし、せいうちその他の海洋生物資源を採捕するために使用する船舶をいう。

(6) 「新船」とは、この条約がそれぞれの締約政府について効力を生ずる日以後にキールが据え付けられるか又は同様な建造段階にある船舶をいう。

(7) 「現存船」とは、新船でない船舶をいう。

(8) 「長さ」とは、キールの上面から測つた最小型深さの八十五パーセントの位置における喫水線の全長の九十六パーセント又はその喫水線における船首材の前面からラダー・ストックの中心線までの長さのうちいずれか大きいものをいう。傾斜したキールを有するように設計された船舶にあつては、この長さを測るための喫水線は、計画喫水線に平行なものとす。

第三条 一般規定

(1) この条約の適用を受ける船舶は、この条約の効力発生の日の後においては、この条約の規定に従つて検査され、標示され、及び国際満載喫水線証書（千九百六十六年）又は場合により国際満載喫水線免除証書を備えているのでなければ、国際航海のために航行してはならない。

(2) この条約のいかなる規定も、主管庁が附属書Ⅰに従つて決定される最小フリーボードより大きいフリーボードを指定することを妨げない。

a Contracting Government is responsible or for which the United Nations are the administering authority is regarded as a separate country.

(5) A "fishing vessel" is a ship used for catching fish, whales, seals, walrus or other living resources of the sea.

(6) "New ship" means a ship the keel of which is laid, or which is at a similar stage of construction, on or after the date of coming into force of the present Convention for each Contracting Government.

(7) "Existing ship" means a ship which is not a new ship.

(8) "Length" means 96 per cent of the total length on a waterline at 85 per cent of the least moulded depth measured from the top of the keel, or the length from the fore side of the stem to the axis of the rudder stock on that waterline, if that be greater. In ships designed with a rake of keel the waterline on which this length is measured shall be parallel to the designed waterline.

Article 3

General Provisions

(1) No ship to which the present Convention applies shall proceed to sea on an international voyage after the date on which the present Convention comes into force unless it has been surveyed, marked and provided with an International Load Line Certificate (1966) or, where appropriate, an International Load Line Exemption Certificate in accordance with the provisions of the present Convention.

(2) Nothing in this Convention shall prevent an Administration from assigning a greater freeboard than the minimum freeboard determined in accordance with Annex 1.

第四条 適用

- (1) この条約は、次の船舶に適用する。
 - (a) その政府が締約政府である国で登録されている船舶
 - (b) 第三十二条の規定に基づいてこの条約が適用される地域で登録されている船舶
 - (c) 登録されていない船舶で、その政府が締約政府である国の旗を掲げているもの
- (2) この条約は、国際航海に従事する船舶に適用する。
- (3) 附属書Ⅰの規則は、新船のみに適用する。
- (4) 附属書Ⅰの規則の要件の全部又は一部に完全には適合しない現存船は、少なくとも、この条約の効力発生前に主管庁が国際航海に従事する船舶に適用していた軽度の関連要件には適合しなければならぬ。いかなる場合にも、このような現存船は、フリーボードを増すことを要求されることはない。現存船が以前に指定されたフリーボードを減ずることができない。
 - (5) 附属書Ⅱの規則は、この条約の適用を受ける新船及び現存船に適用する。

第五条 適用除外

- (1) この条約は、次の船舶には適用しない。

Article 4 Application

- (1) The present Convention shall apply to:
 - (a) ships registered in countries the Governments of which are Contracting Governments;
 - (b) ships registered in territories to which the present Convention is extended under Article 32; and
 - (c) unregistered ships flying the flag of a State, the Government of which is a Contracting Government.
- (2) The present Convention shall apply to ships engaged on international voyages.
- (3) The Regulations contained in Annex I are specifically applicable to new ships.
- (4) Existing ships which do not fully comply with the requirements of the Regulations contained in Annex I or any part thereof shall meet at least such lesser related requirements as the Administration applied to ships on international voyages prior to the coming into force of the present Convention; in no case shall such ships be required to increase their freeboards. In order to take advantage of any reduction in freeboard from that previously assigned, existing ships shall comply with all the requirements of the present Convention.

- (5) The Regulations contained in Annex II are applicable to new and existing ships to which the present Convention applies.

Article 5 Exceptions

- (1) The present Convention shall not apply to:

- (a) 軍用の艦船
- (b) 長さ二十四メートル（七十九フィート）未満の新船
- (c) 総トン数百五十トン未満の現存船
- (d) 運送業に従事しない遊覧ヨット
- (e) 漁船

(2) この条約のいかなる規定も、もつばら次の水域を航行する船舶には適用しない。

- (a) 北アメリカの大湖及びセント・ローレンス河の水域であつて、ロージャー岬とアンティコステイ島のウエスト・ポイントとを結ぶ航程線及びアンティコステイ島の北側の西経六十三度の子午線を東端とするもの
- (b) カスピ海
- (c) ラ・プラタ河、パラナ河及びウルグアイ河の水域であつて、アルゼンティンのプンタ・ノルテとウルグアイのプンタ・デル・エステとを結ぶ航程線を東端とするもの

第六条 免除

(1) 船舶が二以上の国の近隣諸港間の国際航海に従事する場合において、これらの諸港の所在国の政府が、これらの諸港間の航海の保護された性質又は状況によりこのような航海に従事する船舶にこの条約の規定を適用することが不合理又は実行不可能であると認めるときは、主管庁は、船舶がこのような航海に従事する限り、その船舶に対してこの条約の規定の適用を免除することができる。

(2) 主管庁は、新しい特性を有する船舶に対し、この条約のい

- (a) ships of war;
 - (b) new ships of less than 24 metres (79 feet) in length;
 - (c) existing ships of less than 150 tons gross;
 - (d) pleasure yachts not engaged in trade;
 - (e) fishing vessels.
- (2) Nothing herein shall apply to ships solely navigating:

- (a) the Great Lakes of North America and the River St. Lawrence as far east as a rhumb line drawn from Cap des Rosiers to West Point, Anticosti Island, and, on the north side of Anticosti Island, the meridian of longitude 63° W;
- (b) the Caspian Sea;
- (c) the Plate, Parana and Uruguay Rivers as far east as a rhumb line drawn between Punta Norte, Argentina, and Punta del Este, Uruguay.

Article 6 Exemptions

(1) Ships when engaged on international voyages between the near neighbouring ports of two or more States may be exempted by the Administration from the provisions of the present Convention, so long as they shall remain engaged on such voyages, if the Governments of the States in which such ports are situated shall be satisfied that the sheltered nature or conditions of such voyages between such ports make it unreasonable or impracticable to apply the provisions of the present Convention to ships engaged on such voyages.

(2) The Administration may exempt any ship which embodies features of

ずれかの規定でその適用がこのような特性の開発のための研究及び国際航海に従事する船舶への応用を著しく阻害するおそれのあるものの適用を免除することができ。ただし、その船舶は、主管庁がその船舶の目的とする用途に適當であり、かつ、船舶の全般的な安全性を確保するものであると認める安全要件でその船舶が訪れる国の政府が受諾するものに適合しなければならない。

(3) (1)又は(2)の規定に基づいて免除を与える主管庁は、その細目及び理由を政府間海事協議機関（以下「機関」という。）に送付するものとし、機関は、それらを締約政府に情報として回章するものとする。

(4) 主管庁は、通常は国際航海に従事しない船舶で例外的状況において単一の国際航海を行なう必要が生じたものについては、この条約のいずれの要件をも免除することができる。ただし、その船舶が行なおうとする航海に適當であると主管庁が認める安全要件に適合しなければならない。

第七条 不可抗力

不可抗力

(1) 出航の時にこの条約の規定の適用を受けない船舶は、荒天その他の不可抗力により予定の航海を変更したためにこの条約の規定の適用を受けることとなることはない。

(2) 締約政府は、この条約の規定の適用にあつては、荒天その他の不可抗力により生ずる船舶の航海変更又は遅延に対して妥當な考慮を払うものとする。

a novel kind from any of the provisions of this Convention the application of which might seriously impede research into the development of such features and their incorporation in ships engaged on international voyages. Any such ship shall, however, comply with safety requirements, which, in the opinion of that Administration, are adequate for the service for which it is intended and are such as to ensure the overall safety of the ship and which are acceptable to the Governments of the States to be visited by the ship.

(3) The Administration which allows any exemption under paragraphs (1) and (2) of this Article shall communicate to the Inter-Governmental Maritime Consultative Organization (hereinafter called the "Organization") particulars of the same and reasons therefor which the Organization shall circulate to the Contracting Governments for their information.

(4) A ship which is not normally engaged on international voyages but which, in exceptional circumstances, is required to undertake a single international voyage may be exempted by the Administration from any of the requirements of the present Convention, provided that it complies with safety requirements which, in the opinion of that Administration, are adequate for the voyage which is to be undertaken by the ship.

Article 7

Force Majeure

(1) A ship which is not subject to the provisions of the present Convention at the time of its departure on a voyage shall not become subject to such provisions on account of any deviation from its intended voyage due to stress of weather or any other cause of *force majeure*.

(2) In applying the provisions of the present Convention, the Contracting Governments shall give due consideration to any deviation or delay caused to any ship owing to stress of weather or any other cause of *force majeure*.

第八条 同等物

Article 8
Equivalents

(1) この条約が要求するものと異なる取付物、材料、器具若しくは装置又は他の設備がこの条約の要求するものと少なくとも同一の実効性を有することが試験その他の方法によつて認められるときは、主管庁は、船舶にこのような取付物、材料、器具若しくは装置を取り付けること又は他の設備を施すことを認めることができる。

(1) The Administration may allow any fitting, material, appliance or apparatus to be fitted, or any other provision to be made in a ship, other than that required by the present Convention, if it is satisfied by trial thereof or otherwise that such fitting, material, appliance or apparatus, or provision, is at least as effective as that required by the Convention.

(2) この条約が要求するものと異なる取付物、材料、器具若しくは装置又は設備を認める主管庁は、締約政府に回章するため、その細目を試験報告とともに機関に送付するものとする。

(2) The Administration which allows a fitting, material, appliance or apparatus, or provision, other than that required by the present Convention, shall communicate to the Organization for circulation to the Contracting Governments particulars thereof, together with a report on any trials made.

第九条 実験の目的のための承認

Article 9
Approvals for Experimental Purposes

実験の目的
のための承認

(1) この条約のいかなる規定も、主管庁がこの条約の適用を受ける船舶について実験の目的のために特別の承認を行なうことを妨げるものではない。

(1) Nothing in the present Convention shall prevent an Administration from making specific approvals for experimental purposes in respect of a ship to which the Convention applies.

(2) このような承認を行なう主管庁は、締約政府に回章するため、その細目を機関に送付するものとする。

(2) An Administration which makes any such approval shall communicate to the Organization for circulation to the Contracting Governments particulars thereof.

第十条 修繕、変更及び改造

Article 10
Repairs, Alterations and Modifications

修繕、変更
及び改造

(1) 修繕、変更及び改造並びにこれらに関連する機装を行なう船舶は、少なくともその船舶に以前に適用されていた要件には引き続き適合しなければならない。この場合において、現存船舶は、原則として、新船のための要件に対する適合の程度

(1) A ship which undergoes repairs, alterations, modifications and outfitting related thereto shall continue to comply with at least the requirements previously applicable to the ship. An existing ship in such a case shall not, as a rule, comply to a lesser extent with the requirements for a new ship than it did before.

が従前より低くなつてはならない。

- (2) 大きな修繕、変更及び改造並びにこれらに関連する艤装^{きそう}は、主管庁が合理的かつ実行可能と認める限り、新船のための要件に従うべきものとする。

第十一条 帯域及び区域

- (1) この条約の適用を受ける船舶は、附属書Ⅱに記載する帯域及び区域においてその船舶に適用される要件に適合しなければならない。
- (2) 二個の帯域又は区域の境界線上にある港は、船舶が通過してきたか又は進入しようとする帯域又は区域内にあるものとみなす。

第十二条 水没

- (1) (2)及び(3)に規定する場合を除くほか、船舶の出航、航海及び到着のいずれの時においても、季節及びその船舶が存在する帯域又は区域に対応する満載喫水線は、水没してはならない。
- (2) 比重が一である淡水に船舶がある場合には、国際満載喫水線証書(千九百六十六年)に表示する淡水許容の幅だけ満載喫水線を水没させることができる。比重が一でない場合には、許容の幅は、一・〇二五と実際の比重との差に比例して定めるものとする。
- (3) 船舶が河川又は内水にある港から出航する場合には、出航

- (2) Repairs, alterations and modifications of a major character and outfitting related thereto should meet the requirements for a new ship in so far as the Administration deems reasonable and practicable.

Article 11 Zones and Areas

- (1) A ship to which the present Convention applies shall comply with the requirements applicable to that ship in the zones and areas described in Annex II.
- (2) A port standing on the boundary line between two zones or areas shall be regarded as within the zone or area from or into which the ship arrives or departs.

Article 12 Submersion

- (1) Except as provided in paragraphs (2) and (3) of this Article, the appropriate load lines on the sides of the ship corresponding to the season of the year and the zone or area in which the ship may be shall not be submerged at any time when the ship puts to sea, during the voyage or on arrival.
- (2) When a ship is in fresh water of unit density the appropriate load line may be submerged by the amount of the fresh water allowance shown on the International Load Line Certificate (1966). Where the density is other than unity, an allowance shall be made proportional to the difference between 1.025 and the actual density.

- (3) When a ship departs from a port situated on a river or inland waters,

点から海洋に至るまでの間に消費する燃料その他すべての物資の重量に相当する追加の積載が許される。

第十三条 検査及び標示

船舶の検査及び標示は、この条約の規定の実施及びその適用からの免除の許与に関する限り、主管庁の職員が行なわなければならない。もつとも、主管庁は、検査及び標示をそのために指名する検査員又は主管庁の認定する団体に委託することができ。すべての場合に、主管庁は、検査及び標示の完全性及び実効性を完全に保証する。

第十四条 最初の検査及び定期的検査

- (1) 船舶は、次に掲げる検査を受けなければならない。
 - (a) 船舶の就航前の検査。この検査は、この条約がその船舶に適用される限り、その構造及び設備の完全な検査を含むものとする。この検査は、配置、材料及び寸法がこの条約の要件に完全に適合することを確保するものでなければならない。
 - (b) 五年をこえない範囲内で主管庁が定める期間を置いて行なう定期的検査。この検査は、構造、設備、配置、材料及び寸法がこの条約の要件に完全に適合することを確保するものでなければならない。
 - (c) 証書の発行月日の前又はその日の後三箇月以内に行なう毎年の定期的検査。この検査は、満載喫水線の位置を決定

deep loading shall be permitted corresponding to the weight of fuel and all other materials required for consumption between the point of departure and the sea.

Article 13 Survey, Inspection and Marking

The survey, inspection and marking of ships, as regards the enforcement of the provisions of the present Convention and the granting of exemptions therefrom, shall be carried out by officers of the Administration. The Administration may, however, entrust the survey, inspection and marking either to surveyors nominated for the purpose or to organizations recognized by it. In every case the Administration concerned fully guarantees the completeness and efficiency of the survey, inspection and marking.

Article 14 Initial and Periodical Surveys and Inspections

- (1) A ship shall be subjected to the surveys and inspections specified below:
 - (a) A survey before the ship is put in service, which shall include a complete inspection of its structure and equipment in so far as the ship is covered by the present Convention. This survey shall be such as to ensure that the arrangements, material, and scantlings fully comply with the requirements of the present Convention.
 - (b) A periodical survey at intervals specified by the Administration, but not exceeding five years, which shall be such as to ensure that the structure, equipment, arrangements, material and scantlings fully comply with the requirements of the present Convention.
 - (c) A periodical inspection within three months either way of each annual anniversary date of the certificate, to ensure that alterations have not been made to the hull or superstructures which would

する計算に影響を及ぼす変更が船体又は船楼に加えられること並びに次の事項に関する取付物及び器具が有効な状態に維持されていることを確保するために行なうものとする。

- (i) 開口の保護
- (ii) ガード・レール
- (iii) 放水口
- (iv) 船員室区域への通路装置

- (2) (1)(c)に定める定期的検査は、国際満載喫水線証書（千九百六十六年）又は第六条(2)の規定に基づいて免除を受ける船舶に発行される国際満載喫水線免除証書に裏書きされるものとする。

第十五条 検査後における状態の維持

第十四条の規定に基づく船舶の検査の完了後は、主管庁の許可を受けなければ、検査の対象となつた構造、設備、配置、材料又は寸法を変更してはならない。

第十六条 証書の発行

- (1) この条約に従つて検査され、かつ、標示された船舶に対しては、国際満載喫水線証書（千九百六十六年）を発行する。
- (2) 第六条(2)又は(4)の規定に基づいて免除を与えられた船舶に對しては、国際満載喫水線免除証書を発行する。
- (3) これらの証書は、主管庁又は主管庁が正当に権限を与える

affect the calculations determining the position of the load line and so as to ensure the maintenance in an effective condition of fittings and appliances for :

- (i) protection of openings;
- (ii) guard rails;
- (iii) freeing ports; and
- (iv) means of access to crew's quarters.

- (2) The periodical inspections referred to in paragraph (1) (c) of this Article shall be endorsed on the International Load Line Certificate (1966) or on the International Load Line Exemption Certificate issued to a ship exempted under paragraph (2) of Article 6 of the present Convention.

Article 15

Maintenance of Conditions after Survey

After any survey of the ship under Article 14 has been completed, no change shall be made in the structure, equipment, arrangements, material or scantlings covered by the survey, without the sanction of the Administration.

Article 16

Issue of Certificates

- (1) An International Load Line Certificate (1966) shall be issued to every ship which has been surveyed and marked in accordance with the present Convention.
- (2) An International Load Line Exemption Certificate shall be issued to any ship to which an exemption has been granted under and in accordance with paragraph (2) or (4) of Article 6.
- (3) Such certificates shall be issued by the Administration or by any person

検査後に
おける状
態の維持

証書の発
行

人若しくは団体が発行する。すべての場合に、主管庁は、証書について全責任を負う。

- (4) この条約の他の規定にかかわらず、国際的な満載喫水線の証書であつて、この条約が船舶の旗国の政府について効力を生じた日に有効なものは、その後二年の期間が満了する日又は証書の有効期間が満了する日のうちいずれか早い日まで有効とする。その後は、国際満載喫水線証書(千九百六十六年)を必要とする。

第十七条 他の政府による証書の発行

他の政府
による証
書の発行

- (1) 締約政府は、他の締約政府の要請があつたときは、船舶に検査を受けさせることができ、また、この条約に規定する要件が満たされていると認めるときは、その船舶のためにこの条約に従つて国際満載喫水線証書(千九百六十六年)を発行し、又はその発行を認めなければならない。
- (2) 証書、フリーボードを計算するために使用された検査報告及び計算書の写しは、検査を要請した政府にできる限りすみやかに送付しなければならない。
- (3) こうして発行する証書には、当該証書が船舶の旗国又は旗国となる予定の国の政府の要請に基づいて発行された旨を記載しなければならない。この証書は、第十六条の規定に基づいて発行する証書と同一の効力を有し、かつ、同等のものとして認められる。
- (4) 国際満載喫水線証書(千九百六十六年)は、その政府が締約政府でない国を旗国とする船舶に発行してはならない。

or organization duly authorized by it. In every case, the Administration assumes full responsibility for the certificate.

- (4) Notwithstanding any other provision of the present Convention, any international load line certificate which is current when the present Convention comes into force in respect of the Government of the State whose flag the ship is flying shall remain valid for two years or until it expires, whichever is earlier. After that time an International Load Line Certificate (1966) shall be required.

Article 17

Issue of Certificate by another Government

- (1) A Contracting Government may, at the request of another Contracting Government, cause a ship to be surveyed and, if satisfied that the provisions of the present Convention are complied with, shall issue or authorize the issue of an International Load Line Certificate (1966) to the ship in accordance with the present Convention.

- (2) A copy of the certificate, a copy of the survey report used for computing the freeboard, and a copy of the computations shall be transmitted as early as possible to the requesting Government.

- (3) A certificate so issued must contain a statement to the effect that it has been issued at the request of the Government of the State whose flag the ship is or will be flying and it shall have the same force and receive the same recognition as a certificate issued under Article 16.

- (4) No International Load Line Certificate (1966) shall be issued to a ship which is flying the flag of a State the Government of which is not a Contracting Government.

第十八条 証書の様式

- (1) 証書は、これを発行する国の公用語で作成するものとする。使用される国語が英語又はフランス語でない場合には、証書の本文は、これらの国語のいずれかによる訳文を含まなければならない。
- (2) 証書の様式は、附属書Ⅲに掲げるひな形によらなければならない。証書のひな形の印刷部分の配置は、発行する証書又はその認証謄本に正確に再現しなければならない。

第十九条 証書の有効期間

- (1) 国際満載喫水線証書（千九百六十六年）は、発行の日から五年をこえない範囲内で主管庁が定める期間について発行するものとする。
- (2) 第十四条(1)(b)に定める定期的検査が行なわれた場合において、原証書の期間満了前に船舶に新証書を発行することができなときは、検査を行なう人又は団体は、五箇月をこえない期間について原証書の効力を延長することができる。この延長は、証書に裏書きするものとし、また、船舶のフリーボードに影響を及ぼす構造、設備、配置、材料又は寸法の変更が加えられていない場合にのみ、許与するものとする。
- (3) 主管庁は、次のいずれかの場合には、国際満載喫水線証書（千九百六十六年）を失効させなければならない。
(a) 指定フリーボードの増加を必要とするような実質的な変

Article 18
Form of Certificates

- (1) The certificates shall be drawn up in the official language or languages of the issuing country. If the language used is neither English nor French, the text shall include a translation into one of these languages.
- (2) The form of the certificates shall be that of the models given in Annex III. The arrangement of the printed part of each model certificate shall be exactly reproduced in any certificates issued, and in any certified copies thereof.

Article 19
Duration of Certificates

- (1) An International Load Line Certificate (1966) shall be issued for a period specified by the Administration, which shall not exceed five years from the date of issue.
- (2) If, after the periodical survey referred to in paragraph (1) (b) of Article 14, a new certificate cannot be issued to the ship before the expiry of the certificate originally issued, the person or organization carrying out the survey may extend the validity of the original certificate for a period which shall not exceed five months. This extension shall be endorsed on the certificate, and shall be granted only where there have been no alterations in the structure, equipment, arrangements, material or scantlings which affect the ship's freeboard.
- (3) An International Load Line Certificate (1966) shall be cancelled by the Administration if any of the following circumstances exist:
(a) material alterations have taken place in the hull or superstructures

更が船体又は船楼に加えられた場合

(b) 第十四条(1)(c)に定める取付物及び器具が有効な状態に維持されていない場合

(c) 船舶が第十四条(1)(c)に定めるところにより検査されたことが証書に裏書きされていない場合

(d) 船舶が安全でなくなるまで船舶の構造上の強さが低下している場合

(4) (a) 第六条(2)の規定に基づいて免除を受ける船舶に主管庁が発行する国際満載喫水線免除証書の有効期間は、発行の日から五年をこえてはならない。この証書の更新、裏書き及び失効の手続は、国際満載喫水線証書(千九百六十六年)についてこの条で定める手続と同様とする。

(b) 第六条(4)の規定に基づいて免除を受けた船舶に発行する国際満載喫水線免除証書の有効期間は、その発行に係る単一の航海に限らなければならない。

(5) 主管庁が船舶に発行する証書は、その船舶が他の国の旗を掲げることとなつた場合には、その効力を失う。

第二十条 証書の容認

この条約に従い締約政府の権限に基づいて発行される証書は、他の締約政府によつて容認されるものとし、かつ、この条約で定めるすべての目的のため、その政府が発行する証書と同一の効力を有するものと認められる。

of the ship such as would necessitate the assignment of an increased freeboard;
(b) the fittings and appliances mentioned in sub-paragraph (c) of paragraph (1) of Article 14 are not maintained in an effective condition;
(c) the certificate is not endorsed to show that the ship has been inspected as provided in sub-paragraph (c) of paragraph (1) of Article 14;
(d) the structural strength of the ship is lowered to such an extent that the ship is unsafe.

(4) (a) The duration of an International Load Line Exemption Certificate issued by an Administration to a ship exempted under paragraph (2) of Article 6 shall not exceed five years from the date of issue. Such certificate shall be subject to a renewal, endorsement and cancellation procedure similar to that provided for an International Load Line Certificate (1966) under this Article.

(b) The duration of an International Load Line Exemption Certificate issued to a ship exempted under paragraph (4) of Article 6 shall be limited to the single voyage for which it is issued.

(5) A certificate issued to a ship by an Administration shall cease to be valid upon the transfer of such a ship to the flag of another State.

Article 20

Acceptance of Certificates

The certificates issued under the authority of a Contracting Government in accordance with the present Convention shall be accepted by the other Contracting Governments and regarded for all purposes covered by the present Convention as having the same force as certificates issued by them.

第二十一条 監督

- (1) 第十六条又は第十七条の規定に基づいて発行された証書を有する船舶は、他の締約政府の国の港にあるときは、その政府が正当に権限を与える職員の監督に服さなければならぬ。締約政府は、この条約に基づく有効な証書が船内にあることを確かめるために合理的かつ実行可能な限度でこの監督が実施されることを確保するものとする。船内に有効な国際満載喫水線証書(千九百六十六年)がある場合には、監督は、次の事項を確かめる目的に限らなければならない。
 - (a) 船舶が証書によつて許容された限度をこえて積載していないこと。
 - (b) 船舶の満載喫水線の位置が証書に符合していること。
 - (c) 船舶が、第十九条(3)(a)及び(b)に定める事項について、人命に危険を及ぼすことなく航行するために明らかに不適当となるまで実質的に変更を加えられていないこと。
- 有効な国際満載喫水線免除証書が船内にある場合には、監督は、その証書に明記されている条件が満たされていることを確かめる目的に限らなければならない。
- (2) 監督は、それが(1)(c)の規定に基づいて実施されるときは、船舶が旅客又は船員に危険を及ぼすことなく航行することができない間は出港しないことを確保するために必要な限りにおいて実施されるものとする。
- (3) この条に規定する監督がなんらかの干渉を伴うこととなる場合には、監督を行なう職員は、船舶の旗国の領事又は外交

Article 21
Control

- (1) Ships holding a certificate issued under Article 16 or Article 17 are subject, when in the ports of other Contracting Governments, to control by officers duly authorized by such Governments. Contracting Governments shall ensure that such control is exercised as far as is reasonable and practicable with a view to verifying that there is on board a valid certificate under the present Convention. If there is a valid International Load Line Certificate (1966) on board the ship, such control shall be limited to the purpose of determining that:
 - (a) the ship is not loaded beyond the limits allowed by the certificate;
 - (b) the position of the load line of the ship corresponds with the certificate; and
 - (c) the ship has not been so materially altered in respect of the matters set out in sub-paragraphs (a) and (b) of paragraph (3) of Article 19 that the ship is manifestly unfit to proceed to sea without danger to human life.
- If there is a valid International Load Line Exemption Certificate on board, such control shall be limited to the purpose of determining that any conditions stipulated in that certificate are complied with.
- (2) If such control is exercised under sub-paragraph (c) of paragraph (1) of this Article, it shall only be exercised in so far as may be necessary to ensure that the ship shall not sail until it can proceed to sea without danger to the passengers or the crew.
- (3) In the event of the control provided for in this Article giving rise to intervention of any kind, the officer carrying out the control shall immediately inform in writing the Consul or the diplomatic represen-

代表に対し、干渉の決定及び干渉を必要と認めるすべての事情を直ちに書面で通知しなければならない。

第二十二条 特権

この条約に基づく特権は、船舶がこの条約に基づく有効な証書を備えていない限り、船舶のために主張することができない。

第二十三条 海難

(1) 各主管庁は、この条約につきいかなる変更が望ましいかを決定するために役だつと判断する場合には、当該主管庁が責任を有し、かつ、この条約の規定の適用を受ける船舶に生じた海難について調査を行なうことを約束する。

(2) 各締約政府は、この調査の結果に関する適切な情報を機関に提供することを約束する。この情報に基づく機関の報告又は勧告は、当該船舶及びその国籍を表示してはならず、また、いかなる方法によつても、いづれかの船舶若しくは人に責任を帰し、又はそれらの責任を暗示するものであつてはならない。

第二十四条 従前の条約

(1) 満載喫水線に係る事項に関する他のすべての条約及び取極で、この条約の当事者たる政府の間に現に効力を有するものは、その有効期間中、次のものについて引き続き十分かつ完

tative of the State whose flag the ship is flying of this decision and of all the circumstances in which intervention was deemed to be necessary.

Article 22 Privileges

The privileges of the present Convention may not be claimed in favour of any ship unless it holds a valid certificate under the Convention.

Article 23 Casualties

(1) Each Administration undertakes to conduct an investigation of any casualty occurring to ships for which it is responsible and which are subject to the provisions of the present Convention when it judges that such an investigation may assist in determining what changes in the Convention might be desirable.

(2) Each Contracting Government undertakes to supply the Organization with the pertinent information concerning the findings of such investigations. No reports or recommendations of the Organization based upon such information shall disclose the identity or nationality of the ships concerned or in any manner fix or imply responsibility upon any ship or person.

Article 24 Prior Treaties and Conventions

(1) All other treaties, conventions and arrangements relating to load line matters at present in force between Governments Parties to the present Convention shall continue to have full and complete effect during the terms thereof as regards: